

ノイエスだより

ノイエス朝日
(朝日印刷工業株式会社)

群馬県前橋市元総社町73-5
 TEL 027-255-3434
 FAX 027-255-3435
<https://www.neues-asahi.jp>
Communication House
NEUES
 ASAHI

青空にどっと湧きあがる入道雲を眺めて、なんだか懐かしい気分になりました。子どもの頃の暑い夏、一人で汗をかきながら庭で遊んでいて、芝生に寝転がってずっと雲の動きを見ていたなど。毎年見ている入道雲ですが、去年の雲ではなくて子どもの頃見た記憶と、同時に草の匂いや汗ばんだ感覚、それから入道雲が出てくる絵本や文章や映画など、色々なことが関連付けられて思い出されます。自然の情景でも芸術的な作品でも、何かを見て感動や衝撃を受けたときに、様々なことが脳内で関連付けられていくことは不思議なことです。脳科学者の中野信子さんが「芸術はすぐに役に立つものではないにもかかわらず、脳では美を認知するために、前頭前野のほぼ全てを使うんです。人間は生きていくためにかなりカツカツのリソースでやり繰りしているのに、なぜそんなに膨大な領域を使う必要があるのか、不思議に思いませんか？ 効率重視の人なら、もっと記憶力を上げるために脳を使つたほうがいいと考えるでしょう。でも、こんなに多くの領域を美の認知に使わなければいけない理由がたぶんあるんですよ。」と書いていました。効率や生産性だけじゃなくて美しいとか楽しいということに価値を見出したことが、ネアンデルタール人じゃなくてホモ・サピエンスが生き延びた理由ではないかと・・・。

面白い研究があるものだと思います。

そういえば、入道雲を見て終戦の日を思うこともあります。私が終戦を経験したわけではないのですが、夏になるとメディアで取り上げられる太平洋戦争の特集や絵画や映画で感じた記憶とつながってくるのだと思います。自分が本当に経験したわけではないけれど、日本の終戦にかかわる作品に触れたことが、脳の深く深いところに残っていて何かと紐付かれて現れてくる。単に見たり聞いたりした事柄が脳内で日々整理清算されてしまう「情報」と違って、人間が後世に残したいと思う表現に触れるということは、右脳と左脳をフルに使って「体験」しているということなのでしょう。

そういった、脳の多くの領域を使って美しいものと楽しいことに価値を見出す能力と、辛い酷い経験を共有していくことができる能力がなければ、確かにホモ・サピエンスは滅んでしまうかもしれません。年表やテストに出る答えを覚えるだけの歴史や美術の授業ほどつまらないものはないし、意味もないと思います。戦争に関しては語り部が高齢化しているとか、戦争を知らない私たちがどうやって平和の大切さを切実に次世代に伝えることができるのかといった問題がありますが、単なる情報だけではなくて「作品」として戦争や平和を残していくことの大切さを改めて感じています。

(橋本)

ノイエス朝日〈展覧会〉のご案内

萩原敏孝展

— 夢と現 —
ゆめ うつつ

〈企画〉

会期 八月十九日(土)～二十七日(日)
 午前十時～午後五時
 会場 ノイエス朝日 スペース1・2

飯出袈裟市

暮らしの挽物工芸展

〈企画〉

会期 九月二日(土)～十日(日)
 午前十時～午後五時
 会場 ノイエス朝日 スペース1・2



湯呑 櫻



茄子楊枝入れ



つぼ押

第29回 油彩画グループ 金曜会展

会期 九月十二日(火)～十四日(木)
 午前十時～午後五時
 会場 ノイエス朝日 スペース1・2

出品者 岡本美智子 久保田和子 塩谷充代

狩野美重子 桑原榮子 角田邦子

賛助出品 島崎庸夫先生

連絡先 / 桑原榮子 ☎0279-547268

松本茂晴作陶展

暮らしの器—土の軌跡II 〈企画〉

会期 九月十六日(土)～二十四日(日)
 午前十時～午後五時
 会場 ノイエス朝日 スペース1・2

歳月の流れに、気がつけば残りの時を気にするようになってしまいました。作り続け、来し道を振り返れば、どこまで納得し得たかは不明です。作品を発表するということは、自らの制作に対する棚卸であり、新たな前進への道標でもあると考えています。コロナ過という状況ではあります。発表の機会を得られたことはうれしい限りです。地元月夜野焼にて修行を出発。後に各地の窯元にて勉強を重ねてきました。それぞれの地に根差した伝統を体験することにより、少しは陶芸の奥に進むことができたのではと感じています。この機会に是非ご高覧、ご批評いただければ幸いです。

滝川窯 松本茂晴

〔略歴〕一九七六(昭和五二)波佐見焼二代福田祐太郎(月夜野焼創設者)に入門。二〇一二(平成二十四)京都造形芸術大学陶芸コース卒。この間個展、公募展中心に作品発表を行い、益子、萩、信楽、備前、多治見、増穂等各地にて新窯焼成、作陶研鑽を行う。



信楽、備前の作品も展示します

夏季休暇のお知らせ

八月十一日(金)～十六日(水)は朝日印刷工業株式会社
 の夏季休業となり、ノイエス朝日も完全に閉廊しています。
 お問い合わせ等は展覧会の会期中にお願いいたします。